

# すわみつえ通信

No.148 2020年11月9日(月)

日本共産党鴻巣市議会議員

諏訪 三津枝



連絡先 鴻巣市赤見台3-2-7  
TEL: 596-9440 FAX: 507-4151  
携帯: 080-5039-2785  
E-mail: mi-suwa@ezweb.ne.jp  
mitsue-suwa@jcom.zaq.ne.jp

WEBで

すわみつえ



ホームページで、すわみつえの政策とお約束をご紹介します。

福祉・教育最優先の街づくり 市民の声を生かし いのちとくらしを守る市政に

ネット署名はこちらから

<http://chng.it/xV9q9Mhm2R>

QRコード



笠原小存続署名期限迫る  
ネット署名も増えています

笠原小学校存続のための

2つの署名を大きく拡げて！

現在40名の方がネット署名に賛同しています。吹上駅の早朝宣伝で、QRコードを読み込んでからの操作方法を問い合わせいただきました。「笠原小が好きだから」と笑顔の女性に寒さが吹き飛びました。

署名用紙がお手元に届かない方、ネット署名は初めてという方、お持ちのスマホでは非お願ひします。URLまたはQRコードでアクセスし、赤いバナー「今すぐ賛同」をクリックして署名を試みてください。また、フェイスブックでの拡散(シェア)をお願い致します。

各団体が取り組んでいる署名の集約も始まりました。提出期限が迫っていますので、宜しくお願い致します。

敬老祝い金振り込み  
完了まで、もうしばらく  
お待ちください

毎年、敬老の日に向けて、地域の民生委員さんが鴻巣市からの敬老祝い金を該当する方々(75・80・85・90・95歳)にお届けし、お祝いとともに様子の確認をしています。

今年は「コロナ感染防止の観点から民生委員の訪問ではなく、対象者の皆さんの口座への振込に変更となりました。市は8月に対象者3707人の方に振込先口座の指定手続きを行うよう通知をしました。

敬老祝い金は、9月18日に732人、10月6日に2458人、11月5日には、240人の方に振込が完了しています。□座情報の確認が必要なる76人の方には未だ振り込めていない状況です。市は担当課は懸命に取り組んでいますが、敬老祝い金の対象となっている方でまだ振り込まれていない方は市役所福祉課に問い合わせをしてみてください。

祝敬老・寿商品券の  
ご利用は12月31日まで

例年75歳以上の高齢者の方に対し、地域で開催される敬老会が「コロナ感染防止のため中止となり、替わりに

寿商品券が配布されました。市内の商店で利用できます。

安心カードのご利用を

「安心カード」は、高齢者世帯または高齢者の一人世帯の方が、自宅で具合が悪くなり、救急車を呼ぶときや離れて暮らす家族に連絡をとる時などに備えておく安心なカードです。

地域の民生委員さんが訪問したときに、カードへの情報記入を手伝って、冷蔵庫のドアに貼ります。そうすることで救急隊や警察が駆け付けた場合に、その方の正確な情報を知ることができ、より迅速・適切な対応が望めます。

9月30日に埼玉県中央広域消防本部救急課と社会福祉協議会との懇談に同席させていただき、安心カードの利用について意見交換をしました。救急隊員も現場に到着した際に参考にしているとのこと。

いざという時にあわてないためにも高齢者に限らず用意しておくといいと思います。

俳句コーナー

木枯らしに 許さぬ違憲  
打倒スガ

多恵子

毎週朝 駅頭においてホットなニュース「すわみつえ通信」をお届けします。

(月)吹上駅南口 (火)北鴻巣駅東口 (水)北鴻巣駅西口 (木)吹上駅北口 (金)鴻巣駅西口



# 鴻巣革新懇第10回総会 ドキュメンタリー映画上映のご案内

日時 **11月14日(土)**

**13:00開場 13:30開会**

会場 **こうのすシネマ** 参加費  
**「多目的ホールA」 500円**

映画 ドキュメンタリー映画 **ドローンの眼**

地上からは見えない沖縄の米軍基地や自衛隊基地の全貌を「ドローンの眼」がとらえた。

主催 平和・民主・革新の時代をひらく  
鴻巣の会(鴻巣革新懇)  
問い合わせ: 鴻巣革新懇事務局  
090-9376-1408(諏訪)



## 山芋も平和を祈っています...ピースサイン 川俣で収穫、原因は不明 福島民友

川俣町小神の農業高木茂男さん(73)方で、ピースサインをしている手の形にそっくりの山芋が収穫され、話題を呼んでいる。

山芋の長さは約50センチで、先月末に自宅隣の畑で収穫された。収穫した約30本のうち1本の山芋に多くの曲がりやくびれがあり、本物の指や関節のように見える。これまでにUの字形の山芋は収穫されたが、ピースサインの形になった原因は分からないという。

高木さんは「新型コロナウイルスの感染拡大が止まらず、多くの人の心が沈みがちだ。平和を祈るピースサインに願いを込めたい。ほっこりする話題で少しでも笑顔になってもらえれば」と話した。

(福島民友新聞社 11月7日付)

紅葉シーズン真っ盛りの群馬県みなかみ町にある「道の駅たくみの里」周辺に、わらで作られた巨大わらアートが登場しました。(写真)

### 群馬・みなかみ町「たくみの里」

今年、コロナで脚光を浴びた妖怪「アマビエ」や、来年の干支(えと)のウシなど8体を展示。30日まで1カ月間、訪れる人を楽しませてくれます。わらアートは、住民らの協力によって作られ、今年で4年目です。主催は、たくみの里PRイベント実行委員会。近くの交差点にお目見えした「わらしん親子」の前では、車で通りかかった人が次々と降りてきて「大きい」「フタ?」「違う、イノシシだ!」などと歓声をあげて、記念撮影をしていました。たくみの里一帯では、わら細工や和紙づくり、こんにゃくづくりなど、昔ながらのものづくりを体験できる施設が軒を連ねています。

しんぶん赤旗 11月5日付

